

平成29年度第六回ユニット型特養運営推進会議

施設長

係長

主任

- ① 日 時 平成30年3月14日(火)14:00~15:00
- ② 場 所 伯寿の郷 ユニット会議室
- ③ 参加者 森本富枝様、永井清美様、秦和男様、小松原祐二様、河野友香様
仲佐施設長、谷上相談員、田邊相談員
- ④ 書記 谷上

(内 容)

1.入所者代表森本様より状況を伺う

田邊相談員「森本様、体調はどうでしょうか。最近もソファーに座ってテレビをみえていますでしょうか。」

森本様「あまり良くありません。テレビはまだ観ていません。」

田邊相談員「そうですね、ぼちぼちやっていきましょかね。食事はしっかり食べる事が出来ていますか。」

森本様「食事はまあまあ食べています。」

田邊相談員「姪さんも良く来られていますよね。気候が良くなったら外にでも散歩もしたいですね。」

森本様「はい。まだなかなか出かけれていませんが。」

秦様「夜はしっかり寝られていますか。森本さんはご自宅はどちらですか。」

森本様「まあまあ寝れています。伯太町の城山です。」

森本様は体調を考慮し途中退席とする。

2.議題報告

議題に沿って、谷上相談員より、生活記録、地域交流、内部研修についての報告を行う。

3.質疑応答

仲佐施設長「腰痛予防につきましては、研修に参加した職員からもっと聞きたいといった意見も多くあり、良い研修であったかと思えます。正しい介護技術はご利用者への負担も少なくなります。個人としての筋力アップなどの予防も大切ですが、介護技術の習得なども必要と思っています。また寺本先生の研修につきましては、年間6回を通してモチベーションのアップや参加した職員が自分自身を振り返る良い機会になったように感じています。」

河野様「生活記録の報告にあるように、一人ひとりに寄り添ったケアをされていて素晴らしく感じています。おせちは職員さんが作られたのでしょうか。」

仲佐施設長「ユニットの職員で作りました。今回は施設全体ではなく、ユニットだけであったように思います。」

河野様「紅白歌合戦や、おみくじなどをされていて、とても取り組みに工夫されているように感じました。」

谷上相談員「施設に入所をされているとどうしても季節を感じにくくなってきますが事が、季節を感じる事が出来るような取り組みは心がけています。」

小松原様「外出の報告がありますが、自分から出たいという意思表示が出来るかたは、何人くらいいらっしゃいますでしょうか。」

仲佐施設長「出かけたという意思表示をされる方は少ないですね。この方に関しては、職員と家族様とで外出等の年間計画を立てており、定期的には外出に取り組んでいます。」

秦様「歌が好きの方が多くいんですね。周りの方がとても和みますね。」

仲佐施設長「歌う事で満足される方もいらっしゃるけれど、周りの方の前で歌って賞賛される事が喜びに繋がる方もおられます。いろいろな事に喜びを感じておられてます。」

小松原様「先日チャリティーショーに参加した際、100人近い方がステージで歌を披露されていました。その方たちは実費で出演しており、その経費をチャリティーに充てられているとのこと。ただ歌うだけでなく、誰かが聞いてくれることも喜びに繋がっているのだなと感じました。」

仲佐施設長「鳥居やおみくじなども職員が協力して作り、良い効果が出ているように感じています。外出するだけでなく、施設の中での楽しみも作っていきたく感じています。」

秦様「インフルエンザの対策の話はありましたが、花粉対策等はされていますでしょうか。」

谷上相談員「花粉に特化した対策は行っていませんが、標準感染予防には取り組んでいます。」

仲佐施設長「インフルエンザはここ最近もまだ増えているようですね。施設で流行した時も予防でタミフル等の服薬も行いました。」

永井様「餅は、つまりやすいと聞きますが、大丈夫でしたでしょうか。」

田邊相談員「牛乳餅に変える等の対応を行っています。」

仲佐施設長「細かく刻んで対応したりしています。また食中毒にも気を付けています。」

小松原様「理想を追い求めるのは良いかと思いますが、職員さんの負担は大丈夫でしょうか。支える側が倒れてしまうといけませんよね。」

谷上相談員「確かに理想と現実とのギャップはあるように感じています。この業界で大いなのは燃え尽きて、職員が辞めてしまう事があります。」

小松原様「こないだ市の方の話を聞いた時2025年問題についての話がありました。問題としてひとくりにするのではなく、何か一言でもあると良いのにと思います。ふるさと教育や地域ビジョンの話がありましたが、目標の数値に全然達成していません。責任の所在を明確にすべきかと感じています。また、民生委員として関わっているケースで、「手を引きなさい」と言われたこともあり。なんとかしてあげたいと思っけていてもうまくいかないことも多いのが現状です。」

河野様「確かに縦割りの所はあるかと思いますが、なるべく横の連携を図っていきたく思っています。そのための地域ケア会議の開催などを行っています。」

その他

次年度について、委員の皆様にご周知を行い承諾を得る。新年度になった際、改めて依頼を行う。